学校番号	312

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　標準「現代の国語」　（第一学習社）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学時よりも難度の高い文章を読みます。感想や意見を書くことを求める機会もあります。
　主体的に考える力、表現力を磨きますので、「自ら」文章を読む姿勢が求められます。
・授業では中学時よりも難解で抽象的な文章も読んでいきます。授業の説明をしっかりと聞くように
　心掛けて下さい。
・授業中の発問に対しては、自分が当たっていなくても、常に自分の頭で考えて言語化する習慣を
　つけてください。
・気になったことは積極的にノートを取るようにしてください。
・予習として必ず前もって出された課題に取り組んでおいてください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ［教材］ なぜ本を読むのか（又吉直樹）	a:主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 b[　読　]:・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 c:本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノートの提出
	人前で話をする際の効果的な方法について学習する。 ［教材］スピーチで自分を伝える	a: b[　話／聞　]:・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 c:自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。		発問評価 発表	授業態度 ポートフォリオ
	話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、より伝わりやすい表現方法を理解する。 ［教材］話し方の工夫	a: b[　話／聞　]:積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 c:積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。		発問評価 発表	授業態度 ポートフォリオ ノートの提出
	「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や取り上げられた事例から把握する。 ［教材］世界は謎に満ちている（手塚治虫）	a:常用漢字を文や文章の中で活用する。 b[　書　]:自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 c:粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノートの提出

	東西の文化の違いを対比関係を用いながら理解する。 ［教材］水の東西（山崎正和）	a:主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]:東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 c:情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノートの提出
2	ステレオタイプの作られ方や問題点について学び、自分の意見や考えを深める。 ［教材］ステレオタイプの落とし穴（原沢伊都夫）	a:主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する b[読]:・ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。 c:本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノートの提出
	論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、合意形成のための話し合いの方法について学ぶ。 ［教材］合意形成のための話し合いを行う	a: b[話／聞]:・話し合いの進め方のルールを理解する。 c:実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。		発問評価 発表	授業態度 ポートフォリオ 話し合い
	「論理的な表現」とはどのようなものかを学ぶ。 ［教材］論理的な表現	a:説得力を意識した表現のしかたについて理解する。 b[話／聞]:論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 c: 進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。	課題の提出	発問評価 発表	ポートフォリオ 話し合い 授業態度

「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考える。 ［教材］「弱いロボット」の誕生（岡田美智男）	a:常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[書]:筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 c:本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノートの提出
戦争や平和について述べた文章を読み、自分の意見や考えを深める。 ［教材］黄色い花束（黒柳徹子）	a:主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]:コソボの話題と筆者の子供時代の話題との関係を把握し、子供たちに対する筆者の思いについて考えを深める。 c:本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 発表 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノートの提出
プレゼンテーションについて理解を深め、実践する。 ［教材］理想の修学旅行をプレゼンする	a:情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 b[話／聞]今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 c:積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価しようとしている。	発表・報告	発問評価	話し合い ポートフォリオ 授業態度
読む側にわかりやすく、自分の思いを正確に伝える書き方を学ぶ。 ［教材］書き方の基礎レッスン	a:表記・表現の基本ルールを理解する。 b[書]: c:進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。	発表・報告 課題の提出		授業態度 ポートフォリオ

3	比較には対比と類比があることを理解し、対比構造を用いた論理展開への理解を深める。 ［教材］論理分析【対比】「間」の感覚（高階秀爾	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b［ 読 ］：・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 c：情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	課題の提出 要約文の提出 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 ポートフォリオ ノートの提出
	相手や場の状況を意識して、相手に伝わる案内の仕方を考える。 ［教材］相手に伝わる案内をする	a：目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 b［ 話／聞 ］今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じようとしている。 c：進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。	ノートの提出 発表・報告	発問評価	授業態度 ポートフォリオ
	実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。 ［教材］実用的な手紙文の書き方	a：接続表現の種類や用法を理解する。 b［ 書 ］：相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 c：教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとしている。	発表	発問評価	授業態度 ポートフォリオ 手紙文の提出

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［b］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間